



松本短期大学 大人の森の健康診断（植栽体験）



令和5年5月12日

松本短期大学幼児保育学科2年生

一般社団法人塩尻市森林公社



松本短期大学幼児保育学科2年生（16名）の皆さんと 「大人の森の健康診断（植栽体験）」を実施しました。

学び

天気に恵まれたなか、皆さんと植栽を実施することが出来ました。

まず始めに公社職員より、塩尻市森林公社ではどんなことをしているのか、また、森林資源の循環利用について簡単に説明します。その後は植栽の方法について、実際に公社職員が「こーやって苗木を植えるんだよ」と手本を見せます。

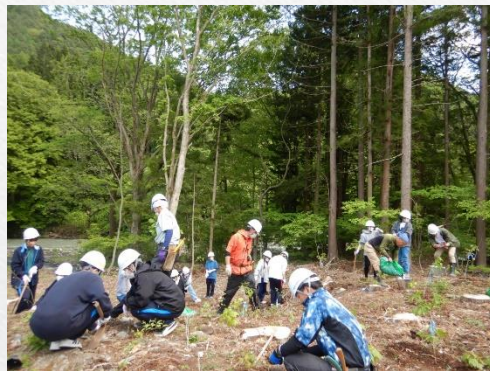
今回はコナラの苗木（3年生）を植栽しました。



体験

2人1組になって、公社職員があらかじめし印をつけておいた場所に苗木を植えていきます。まず、地被物（葉っぱなど）を表土がでるまでクワを使って取り除き、植穴を掘ります。掘った植穴に苗木を入れ、土をかぶせます。今回はバーク堆肥も使用しました。最後に、植えた苗木を持ち、少し引っ張りながら足で土を踏み固めていきます。また、苗木が簡単に抜けないか、公社職員が確認をして表土を元に戻します。

とても丁寧に植え付けていただきました！！



100本のコナラの苗木を
植栽しました！

2人で協力して植え付けを行います



皆さんからの感想

- 今までにこのような機会がなく、とても貴重な経験をした。
- 苗木の数が多くて大変だったが、自分たちの植えた木が大きくなっていくのが楽しみ。
- 自分たちの植えた木を数十年後に見に来てみたい。
- はじめて植栽体験をしたが、楽しかったし貴重な体験ができた。
- 自然に触れ合えてよかった。
- 木を伐って新たに植えるということを知らなかった。自分たちが植栽をすることで、また木が育つため、自分たちが環境を作っているのだと実感した。

森の健康診断を通して、幅広い世代が、山を身近に感じ、山の素晴らしさを知り、山に囲まれているこの塩尻市をさらに好きになってもらえたら嬉しいです。

言葉で山の魅力を伝えることには限界があります。山に入り、肌で感じ、体験することで、より深くのことを学習できると感じています。

そして、ここでの経験が記憶の中にとどまり、将来へと引き継がれていくことを願っています。

「山を守り、育て、共に生きる」

私たち塩尻市森林公社は、これからもこの活動を続けていきたいと思えます。

